

基本政策5 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち

- ◆**大学在学時奨学金返還支援基金出捐金(3,500万円) 新 ✻**
将来の地域産業の担い手として県内の特定分野に就業した人が受けていた奨学金の返還を支援するため、県が主体となって設置する基金に支出します
- ◆**夢広がるスポーツフェア**
ドリーム・ベースボール(115万円) 新 ✻
元プロ野球選手からなるドリームチームと開催地チームとの親善試合や少年少女ふれあい野球教室を開催します



基本政策6 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

- ◆**鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業(9億9,539万円) ✻**
- ◆**谷山地区連続立体交差事業(18億5,713万円)**
高架切替に伴う仮線の撤去工事や、高架下の遊歩道の基本設計などを行います



今年3月に高架開業した谷山駅

基本政策7 市民と行政が拓く協働と連携のまち

- ◆**地方創生推進事業(113万円) 新 ✻**
本市人口ビジョン・総合戦略の進行管理を行い、「生涯活躍のまち(CCRC)」構想などを策定します
- ◆**移住促進事業(344万円) 新 ✻**
本市への移住を促進するため、PR動画などを作成し、地方への移住希望者を対象に、本市の生活環境や魅力を発信します



※金額は、原則万円未満切り上げ

市の組織の主な見直し

地方創生に向けて、産業の活性化や交流人口の拡大、少子化対策に関する施策の推進、安心安全への取り組みを強化するため、市の組織を見直しました。

- ◆**経済局を再編し、「産業局」と「観光交流局」を新設**
- ◆**「こども未来部」を設置**
- ◆**危機管理課に「桜島火山対策係」を新設**
- ◆**安心安全課に「セーフコミュニティ推進係」を新設** など



旧鹿児島紡績所技師館(異人館)

※詳しくは市ホームページをご覧ください

【行政管理課 216-1139】

基本政策1 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

- ◆**五代友厚誕生地整備事業(3,804万円) 新 ✻**
市民や観光客が憩える広場として「五代友厚誕生地」を整備します
- ◆**首都圏における“食の都かごしま”プロモーション事業(628万円) 新 ✻**
新たに首都圏で鹿児島島の食材を使ったフェアや試食会を開催します
- ◆**世界遺産推進事業(923万円) ✻**
- ◆**東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致事業(45万円) 新 ✻**



基本政策2 健やかに暮らせる安全で安心なまち

- ◆**桜島大規模噴火対策事業(2,794万円) 新 ✻**
新たに市街地側の大量降灰対策や長期避難生活支援対策を検討するほか、複合災害時の避難計画の検討など、火山災害対策を強化します
- ◆**婚活サポート事業(975万円) ✻**
結婚相談所を、8月をめどに中央公民館からキャンセビル7階に移転し、開所時間を変更するなど利便性を向上させます
- ◆**出会い・ふれあい企業対抗運動会開催事業(661万円) 新 ✻**
運動会と参加者交流会を開催し、一企業の枠を越えた出会いの場を提供します



鹿児島地方気象台提供



基本政策3 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

- ◆**ゼロエネルギー住宅整備促進事業補助金(8,403万円) 新 ✻**
住宅用太陽光発電システムとホーム・エネルギー・マネジメント・システム(HEMS)の併置や家庭用燃料電池などの設置に対して助成します
- ◆**市立病院跡地緑地整備事業(549万円) 新 ✻**



基本政策4 地域産業が元気で生き生きと働けるまち

- ◆**中小企業U I Jターン人材確保支援事業(252万円) 新 ✻**
県外で開催される合同企業説明会などへ参加する中小企業に助成します
- ◆**千日町1・4番街区市街地再開発事業(1億9,628万円) 新 ✻**



4. 主な事業

7つの基本政策に基づいて、主な事業を紹介いたします。

マークの説明

✻新 平成28年度の新規事業
地方創生に関連するもの

このように、本市においては、一般会計で過去最高、4年連続プラスとなる242.2億円の新年度予算を編成しました。特に、地方創生の関連施策として、次の四つの視点に重点をおいて、まちづくりを進めてまいります。一つ目には、世界遺産推進事業など、ワンランク上の「魅力」を創出します。二つ目には、婚活サポート事業など、希望に満ちた「ライフプラン」を応援します。三つ目には、中小企業U I Jターン人材確保支援事業など、活力ある「経済」を振興します。四つ目には、移住促進事業など、まちの「勢い」を持続します。これらの施策を一つ一つ着実に実施していくことが、市民一人一人が家庭や職場、地域などで生き生きと輝きながら生活できることにつながっていくものと考えています。

今月号の特集では、こうした取り組みなどの予算の概要を紹介しています。

一歩一歩の積み重ねから、ゴールの瞬間の大きな達成感が生まれるマラソンのように、市政運営にあたっては、各種施策を着実に実行し、力強く前に向かって進めてまいります。

市民とともに

鹿児島市長 森博幸



地方創生本格始動

3月6日、記念すべき第1回大会となる「鹿児島マラソン2016」を開催いたしました。1万2000人のランナーが歴史あふれる街並みを駆け抜け、そして、美しく恵み豊かな桜島や錦江湾を背景にして、一人一人が挑戦した数々のドラマは、私たちが大きな感動の渦に包み込んでくれました。本大会開催にご理解・ご協力いただいた市民や事業者の皆さんをはじめ、運営に携わった関係機関やボランティアなど多くの方々から感謝申し上げます。

さて、平成28年度がスタートしました。先日発表された国勢調査の速報値では、本市の人口が、調査開始以来初めて減少に転じ、人口減少が急速に進んでいることが明らかになりました。人口減少など本市を取り巻く喫緊の課題に対応するため、地方をこれから元気にしていこうとする「地方創生」を本格的に進めていかなければなりません。